

2019年度第6回執行理事会議事録

期日：2020年1月11日（土）13:00～17:00

場所：地質学会事務局

出席者：松田会長 佐々木副会長 平田副会長 斎藤常務 小宮 岡田 辻森 大藤 星 中澤 磯崎 ウォリス 安藤 坂口 廣木 緒方

欠席者（委任状提出あり，カッコ内は委任者）：西, 田村（辻森）

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者16名，委任状2名，合計18名の出席

I 審議事項

1. 日本技術者教育認定機構による説明会の提案(技術者教育委員会 天野) 【審議資料01】
地球・資源分野のJABEE教育の現状（例：新規申請がこの10数年なく停滞傾向）から，その意義の理解を広げることを目的に，上記機構 三田清文専務理事にお越し頂き，説明会を開催することが提案された．2/16（日）13-14時 執行理事会前に説明会を実施予定．
2. 「小さなESのつどい：小，中，高校生徒「地学研究」発表会」の名称変更について（星）【審議資料02】
他学会の同様イベントの名称をも考慮し，「日本地質学会ジュニアセッション」を最終案として次回理事会で提案することとした．
3. 第三種郵便の規定にそった広告掲載について【審議資料03】
郵便審査事務センターより指摘が入り，「第三種郵便物承認定期行物」に対する規定に則り，「付録（ニュース誌）」の記事中と表3（裏表紙の内側）への広告掲載は認められないとのこと．当会出版物，主催行事についても「広告」の形態は掲載不可．これまでニュース誌でのみ広告を募集・掲載していたが，126巻1号(2020年1月)以降の広告の募集・掲載は，以下のように変更することとした．
 - ニュース誌：表4（カラー1頁）
 - 地質学雑誌：記事（白黒，サイズ応相談）
 - ニュース，地質学雑誌とも表2，3への広告掲載はしない今後の本誌の出版体制，業務量を勘案の上，広告を本誌末に移動することで，運営財政担当理事とも相談しながら対応する．
4. ジオパークを通じたジオルジュの配布案(坂口) 【審議資料04】
JGNに一定部数のジオルジュを購入してもらい，各地のジオパークへ配布してもらう提案があった．ジオルジュの出版収支を検討し，学会負担が大幅に減ること，発行部数増で学会としての広報力向上につながることから，JGNとの交渉を進める提案を承認した．
125周年記念の英語版の在庫については，36th IGC(India)やJpGUの学会ブースにおいて広報冊子として利用する．
5. 学術会議会員・連携会員候補者に関する情報提供依頼について【審議資料05】

6名（うち女性2名）を推薦することとした。

6. 学会事務局における総務事務等について（緒方）

事務局業務軽減のため、現況の事務システムについて把握し、事務局とも相談の上、2020年度次期体制で具体的検討を進めるための基礎資料を今年度内に作成する予定。来期の理事会（と総会）には総務事務の改善検討も含めて、担当執行理事と理事から構成される総務委員会を立ち上げることとした。

会員減の傾向に伴う財務状況と事務業務量、事務局体制等について、総務委員会を再編して今後の方向性を検討する。

7. 学会組織の再編について（佐々木）【審議資料06】

各委員会の活動状況についてまとめ、来期に向けて学会組織・委員会を整備する。長期安定性研究委員会、南極地質研究委員会については、委員会継続の可否を斎藤常務理事より関係者に問い合わせる。

8. 学術大会講演要旨集の電子化に関わる会員アンケート実施について（岡田）【審議資料07】

WEBでアンケートを実施予定。大会参加者の負担増の有無がわかるような丁寧な説明文をつけて、回答項目も単純化して行う。

9. 執行理事会のオンライン会議について（坂口）【審議資料08】

Zoom社のオンライン会議サービスを利用して、定例会議とは別に審議する場を設けるために、テスト会議を行う。後日、1/15（火）13時より第1回会議を開催した。

II 報告事項

1. 全体的報告

1) 事務局契約職員の採用について（佐々木）【報告資料01】

契約職員1名を採用した。資料で採用の経緯が報告され、1/9から勤務していることが紹介された。

2) 学会組織再編のうち、委員会など組織の必要性や継続性の検討について（佐々木）【報告資料01】

担当の佐々木副会長のもと、平田副会長、緒方運営財政部会長、磯崎学術研究部会長が担当して、検討を進める。松田会長には適宜ご意見をお伺いするものとする。

3) メール審議により、各賞選考検討委員会の執行理事会推薦委員として、学術研究部会長 磯崎行雄会員を推薦した。

4) 理事会推薦の監事候補者を推薦し、当人から承認を得た。

2. 運営財政部会：総務委員会（緒方・西）

<共催・後援依頼、他団体の募集等>

- ・ 企画展「 Gondwana～岩石が語る大陸の衝突と分裂～（2020.2.29-5.10）」への後援名義使用を承諾した。
- ・ 第17回岩石-水相互作用国際会議（2021.8.2-8.7）の共催依頼を承諾した。あわせて松田会長が組織委員会委員に就任（任期：2019.12.11-2021.12.31）。

- ・ JAMSTEC 外部講演会「もっと知ろう, おもしろ海の火山学」の後援名義使用を承諾した.
- ・ 第 57 回アイソトープ・放射線研究発表会 (地質学会後援) 発表演題募集 (2/28 締切) →ニュース誌, geo-Flash 掲載予定
- ・ 水戸市立博物館特別展「水戸の大地の成り立ち」(2/9-3/15) 開催案内 (フォトコンテスト作品展示協力) →ニュース誌, geo-Flash 掲載予定
- ・ 山田科学振興財団 2020 年度研究援助候補推薦依頼があった (学会締切 2/28) →ニュース誌 12 月号, geo-Flash 掲載
- ・ 2020 年度「深田研究助成」公募開始の連絡があった (2/3 締切) →ニュース誌 1 月号, geo-Flash 掲載

<会員>

- 1) 今月の入会者 (なし)
- 2) 今月の退会者 (正会員 2 名)
河野俊夫 菊池眞一
- 3) 今月の逝去者 (4 名)
名誉会員 (2 名)
猪郷久義 (逝去日 2019 年 11 月 22 日),
島津光夫 (" 2019 年 11 月 26 日)
正会員 (2 名)
高橋昭紀 (逝去日 2019 年 4 月 25 日)
黒川勝己 (" 2019 年 9 月 7 日)
- 4) 2019 年 12 月末日会員数
賛助 : 27, 名誉 : 48, 正会員 : 3532 (内訳 : 正会員 3352, 正 (院割) 165, 正 (学部割) 15)
合計 3607 (昨年比 -75)

<会計>

- ・ 学術著作権協会より 2019 年度複製使用料の分配があった (¥216, 644-).

3. 広報部会 : 広報委員会 (坂口・小宮)

- ・ ジオパークを通じたジオルジュの配布案について→審議事項へ
- ・ ジョルジュは地学オリンピック参加の高校生に 2000 部が配布されている.
- ・ 啓林館より高等学校用教科書「地学基礎」(教科書, 指導書, デジタル教科書) への「県の石」の web ページの紹介文およびリンクの掲載希望が寄せられ, 承諾した.
- ・ 寺西石材 (株) (茨城県桜川市) から学会 HP へのリンクバナー作成のため学会ロゴマーク使用申請があり, 承諾した. <https://makabeishi.com/>

4. 学術研究部会 (磯崎・ウォリス・岡田・辻森)

- 1) 行事委員会 (岡田)

・名古屋大会会場予約が完了。大会日程が確定した。

学術大会：2020年9月9日（水）～11日（金）

ポスト巡検：2020年9月12日（土）～13日（日）

2) 国際交流委員会（ウォリス）

・年末に学術交流協定締結の5学協会および中国地質学会に宛てて、グリーティングカードを送付した。

・モンゴル地質学会の新会長（BAT-IREEDUI Yandag氏；MoEnCo LLC Deputy GM）より新年の挨拶があった。学術交流協定の更新手続き（2019年11月から5年間）について具体的に検討を進める。

・2020年9月に台湾地質学会との交流協定の更新を迎えるので、時期に合わせて対応する

3) JIS, 標準担当（中澤）

・特になし

5. 編集出版部会（大藤・田村）

1) 地質学雑誌編集委員会（大藤）

(1) 編集状況報告（12月27日現在）。

・2019年投稿論文：65編 [内訳] 論説36（和文33・英文3）、レター1（英文）、総説6（和文5、英文1）、ノート2（和文2）、報告11（和文10、英文1）、口絵3（和文3）、巡検案内書6

・査読中：29 受理済み：19（うち特集号7）

・125巻12月号（通常号）5編（計55頁、12/23校了、1/7発送）

・126巻1月号（特集号）「泥火山」の新しい研究展開に向けて4編（50頁、校正中）

2) アイランドアーク編集委員会（辻森）【報告資料02】

(1) 編集状況報告

編集委員長交代を受けて、編集委員会の体制、編集方針などの改善を進めており、今後の投稿数増、ISI指数の向上をめざしていく。

3) 企画出版委員会（小宮）

特になし

6. 社会貢献部会（星・廣木・中澤）

・第20回地震火山こどもサマースクール in TANGO 実施経過報告および3学会連合企画委員会報告（星）【報告資料03】

実施体制や財政の在り方について問題点を整理し、今後の改善につなげていく。

・街中ジオ散歩（5/16実施予定）について企画準備中である。

7. 地質技術者教育委員会（佐々木）

・日本技術者教育認定機構による説明会の提案→【審議事項へ】

・土質・地質技術者生涯学習協議会（CPD協議会）が3月開催。佐々木副会長が出席予定。

8. ジオパーク支援委員会（平田）

- ・ 再認定審査が12/25に公表された。9地域中5地域が再認定され、4地域は条件付き認定となった。

9. 地学オリンピック支援委員会（星）

- ・ チャレンジ地球開催報告：ジオパーク探検は、関東版：悪天候のため中止。関西版：12/1実施した。クイズ30は、関東、関西版あわせて各2（計4）名が受験。上位3名に会長名の表彰状（金賞、銀賞、銅賞）を授与する。参加者が僅少であることから、今後の開催には事前に企画内容や広報について、学会担当者とよく打ち合わせを行い、広報計画も含め入念な準備をもって実施してもらおうこととする。

10. 地質災害委員会（斎藤）【報告資料04】

- ・ 防災学術連携体より「低頻度巨大災害シンポジウム（3/18）」の発表募集にがあり会員に発表を募った。林 信太郎会員からの応募（タイトル「十和田火山における想定大規模噴火と社会対応の問題点」）があり、地質学会からの発表として連携体に申込を行った。

11. 名誉会員推薦委員会委員（委員長 佐々木）

- ・ 12/25に理事会、専門部会宛に候補者推薦を依頼を行った。2/10（月）締切。

2020年2月16日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長（代表理事）松田博貴
署名人 執行理事 斎藤 眞